立憲民主党

声なき市民の声に耳を傾けて 山積の課題に丁寧に取り組め

森　しんいち
菅原　みほ
千間　いずみ

「声なき声」も市民の声

問　市長は、積極的に市民の声を聞いて歩くと言っているが、イベント等に参加しているのは一部の市民である。今後は、普段声を出せないその他多くの市民の「声なき声」に耳を傾けていただきたい。

答　今後も、多くの市民の皆様の声をお聞きしていく。

若者にどう平和を伝えるか

問　恒久平和は、戦争を経験した日本にとって全国民の願いである。戦争を知らずに育ったこれからの世代にどのように平和を伝えていくか課題である。見解は。

答　過去に現実に起きた戦争を学び、平和への思いや地域の歴史への探求心が醸成されるように取り組む。

学童クラブの過密化対策

問　過密化する学童クラブ対策として、特別教室をタイムシェア*するのではないか。

答　検討をより丁寧に進めるため、当初予定していたスケジュールを延伸する。

市民交流施設の運営管理

問　市民の利用が多い各市民交流施設の市民要望の対応について、特にトイレを暖房便座に変えてほしいという要望に応えられないか。

答　施設や設備改修などの対応は、市と協議会との間の意見交換を経て計画的に進めていく。

公園にマンホールトイレを

問　災害時の備えとして、市内の公園全てにマンホールトイレ*を設置できないか。

答　公園における防災機能については庁内で連携しながら検討していく。

児童・生徒への福祉的支援

問　不登校児童・生徒における支援や、地域とのつながりについて見解を問う。

答　学校と教育委員会が連携し、一人一人の状況に応じた教育相談や教育支援センター、スキップ教室などにつなげて継続的支援を行う。

フレイル予防

問　eスポーツの現状と今後について問う。

答　福祉会館、老人福祉センター6か所全てにゲーム機の設置が完了した。今後はeスポーツを活用し、多世代交流や地域のつながりを含めたコミュニティづくりにも寄与していく。

▲田無総合福祉センター eスポーツ室

教職員の業務負担軽減

問　教育活動の充実のためには教職員の働き方改革は喫緊の課題である。業務負担軽減における、部活動指導員についての見解を問う。

答　各学校の部活動の実態に応じて、中学校長と協議しながら適切に部活動指導員を配置する。

避難所へ蓄電池等の導入

問　学校や庁舎、避難所などへの、太陽光パネルや蓄電池の導入は、ゼロカーボンの推進だけではなく、災害時の対応力の強化になると考えるが市の見解を問う。

答　公共施設環境配慮指針に基づき公共施設の建築の際に導入について検討する。

意見　避難所となる施設には積極的に導入すべき。

PFAS検査

問　PFAS検査は、具体的にどの井戸を対象に実施するのか。

答　市所有の震災用井戸、飲用としては使用されていない学校井戸や観測井戸の合計20か所について水質検査を行う。

高齢者とペットの課題

問　ペットの飼育が困難となった高齢者への対応は。

答　各地域包括支援センターが把握している保護団体等を紹介している。今後も適切な相談先につながる取組を進める。

日本共産党西東京市議団

幅広い市民の声に耳を傾け 物価高騰から暮らしを守れ

やまき　明美
中村　すぐる
大竹　あつ子

市報は市長の広報ではない

問　市長選1か月前、元日号の市報1面に、市長を大きな写真で掲載。市民から市長の選挙対策ではという声があったが見解を問う。

答　真摯に受け止める。適時適切な情報提供は必要。

意見　市報は市長の広報ではない。慎重に考えよ。

低所得者のエアコン補助を

問　エアコンのない生活保護、生活困窮世帯への購入補助について見解を伺う。

答　生活サポート相談窓口にエアコン設置の相談はない。

意見　令和5年度決算時点で生活保護34世帯にエアコンがないと報告がある。厚労省はエアコンを最低限度の生活に必要とした。「誰一人取り残さない」の言葉どおりに補助を求める。

国保料は据え置きを

問　国民健康保険財政健全化計画の方向性を伺う。

答　法定外一般会計繰入れ削減・解消のため、国保運協の答申を踏まえ、国保財政健全化計画を改定する。

意見　国制度の構造的問題を被保険者に負わせるものだ。国保料は据え置きを。

戦争の実態の継承を

問　平和大使事業の概要は。

答　中学生・高校生世代を対象とした広島市への平和学習派遣事業である。

意見　痛ましい被害を伝えるだけでなく、過去の過ちを含めて戦争の実態を継承してこそ、平和につながる。

ガバメントクラウドファンディングの考え方

問　ガバメントクラウドファンディング*の考え方は。

答　事業の周知、寄附金制度の周知、市政への参加の機会づくりに効果的である。財源確保、災害時トイレへの関心の向上、寄附による助け合いの関係性の構築、防災意識の啓発のためにトイレカー購入に活用する。

意見　公の責任としての財源確保、財源措置の優先を。

若者への経済支援を

問　若者への経済支援について見解を伺う。

答　若者の実態を把握し、若者のまちづくりへの参画と支援を組み合わせた取組を検討する。

田無第三中学校建て替え

問　中学校を都市施設に位置付ける意味と教育部、企画部、まちづくり部の調整を伺う。

答　都市施設の整備には都市計画税や都市計画事業基金が充当できる。分野横断的連携を図っている。

意見　学校施設は教育施設であるという認識を大前提に、市民意見聴取を丁寧に進めていただきたい。

PFAS対策の充実を

問　市所有井戸のPFAS検査について伺う。

答　飲用でない市所有井戸のPFOS、PFOA検査を予定している。基準値超え対策は国、都、周辺市等の動向を見る。

問　避難者のペットボトル飲用水の備蓄数は。

答　1人500mlを1本である。

意見　到底足りない。防災井戸を飲用できるように。

学童クラブの過密解消を

問　中長期的な学童クラブ整備とは。

答　短期的にはタイムシェアの活用、中期的には小学校建て替えに合わせ校内に整備、長期的には全小学校に学童クラブを整備する。

意見　それでは遅い。早期の過密化・待機児童解消を。

ヘルパーの人手不足対策を

問　訪問介護事業所の人手不足等の現状認識を伺う。

答　ヘルパー不足はサービスの供給や事業所運営に影響する。喫緊対応が必要。

意見　事業所から、人材紹介会社の手数料補助の要望がある。市の独自支援を。

保谷庁舎敷地活用について

問　今後のスケジュールは。子どもの遊び場を市独自で整備または利用料を補助するつもりはないか。

答　7年度は公民連携事業による事業者の公募、選定、基本協定の締結を図る。利用料補助の考えはない。

意見　市民ニーズに合った施設を造るため、子育て世代の意見聴取を求める。

▲市民広場（保谷庁舎跡地）

議会 NEWS

採択された陳情への市の対応①

市議会で採択された請願・陳情は、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。

ここでは令和6年に採択された陳情について、市からの報告をお知らせします。

件名	有機フッ素化合物（PFAS）の検査及び対策を求める陳情
採択年月	令和6年12月（第4回定例会）
陳情事項	1 防災井戸を含む井戸水のPFAS検査を所有者の同意を得て実施し、暫定基準を上回った場合は、活性炭による浄水などの対策を実施してください。 2 希望する子ども・市民のPFAS血液検査を国や東京都に求めてください。
検討結果	**1 震災用井戸水の PFAS 検査を実施し、地下水の現状把握に努めてまいります。** **2 血液検査を国・都へ求めることについては、国の PFAS に関する動向を注視してまいります。**
理由	1 PFAS は、国の専門家会議で人の健康への影響等に関し、最新の科学的知見の収集・評価を行っております。市としては、市民の皆様の不安を払拭するため、地下水の現状把握に努めてまいります。 2 現時点での知見では、どの程度の血中濃度でどのような健康影響が生じるかについては明らかとなっておらず、血液検査の結果のみをもって健康影響を把握することも困難とされております。血液検査実施の要請は、国のさらなる科学的知見の収集・評価を踏まえた確かな根拠が必要と考えております。

＊タイムシェア（一時利用）　学校で使用していない放課後の時間帯及び長期休業の期間に、学校の特別教室等を学童クラブのスペースとして一時利用すること　＊マンホールトイレ　下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの　＊ガバメントクラウドファンディング　すべての寄附がふるさと納税の対象となる、政府（自治体）が行うクラウドファンディングのこと